

KENWOOD

CDオートチェンジャー/コントローラー/FMモジュレーターシステム

KDC-C110FM

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION



CONTENTS

安全上の注意事項	3
使用上の注意	8
ディスクセットのしかた	8
●操作のしかた	
CDプレイ	12
ポーズ	14
ラジオ切り替え	15
早送りと早戻し	16
トラック/ディスクサーチ	17
ダイレクトトラック/ディスクサーチ	18
トラックリピートプレイ	20
ディスクリピートプレイ	21
トラックスキャンプレイ	22
ディスクスキャンプレイ	23
トラックランダムプレイ	24
マガジンランダムプレイ	25
周波数設定	26
出力レベル調整 (FM変調度調整)	27
●取り付けかた	
取り付け部品	28
取り付けを始める前に	29
CDオートチェンジャーの取り付け	30
モジュレーター/ディスプレイユニットの取り付け	33
接続のしかた	34
故障かな?と思ったら	36
エラーメッセージ表示	38
保証とアフターサービス	39
定格	40

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要なときにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

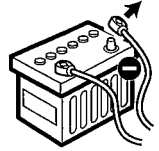
警告



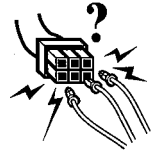
カーオーディオ製品はDC12V \ominus アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



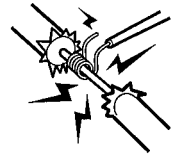
配線作業中は、バッテリーの \ominus 端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



カーオーディオ製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



カーオーディオ製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



警告



カーオーディオ製品の取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当るなど、怪我の原因となります。



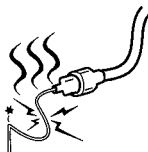
車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



アースコードを取り付ける場所は、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が壊れやすく、ショート・発熱事故による火災が起るおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起るおそれがあります。



カーオーディオ製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



カーオーディオ製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

警告



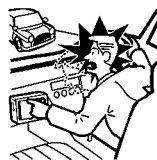
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。



- ・コントロール設定や調整、ネーム入力などのカーオーディオの操作



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



カーオーディオ製品分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



修理は必ず＜お買い上げの販売店＞、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

注意



カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。



ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをするおそれがあります。



液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。
液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹼で洗い落としてください。



カーオーディオ製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



カーオーディオ製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上の注意

8

使用上の注意

電源について

本機の電源はDC12V、マイナス接地です。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

CDオートチェンジャーの取り付けが不安定のまま使用すると故障の原因となります。CDオートチェンジャーは確実に固定し使用してください。

初めてお使いになるときや、バッテリーを交換したときは、ペンの先などでリセットボタンを押してから使用してください。

取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。

セットのお手入れ

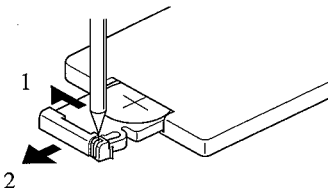
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷がついたり、文字が消えることがあります。

カードリモコンの電池について

カードリモコンをご使用になる前に次の手順で電池を入れてください。

ペンの先などで①の方向にロックを外しながら②の方向へ電池ボックスを引き出します。付属のリチウム電池 (CR2025) を電池ボックスの表示にしたがって⊕と⊖を間違えないように入れてください。

電池が消耗した場合も同様に新しい電池と交換してください。



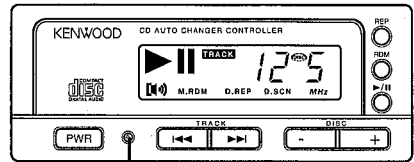
本システムを使用すると・・・

カーラジオ (カーステレオ) によってはエンジン始動時に、一時チューナーの音になることがあります。

本機を使用すると、チューナーの感度が少し落ちる場合があります。

セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まずリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または各営業所へ連絡してください。



リセットボタン

結露

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDオートチェンジャー内部に露 (水滴) がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなることがあります。

このような場合では、CDやCDマガジンを取り出して1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または各営業所へ連絡してください。

温度

直射日光下で、窓を締め切った自動車は車内の温度が高温になります。

CDオートチェンジャー内部が60°C以上になると、保護回路により "Od E" が表示され、CDの演奏ができなくなります。

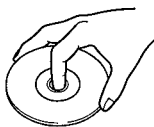
このようなときは、CDオートチェンジャーの取り付け位置の温度を下げると、自動的に演奏が始まります。

もし正常に動作しないときは、リセットボタンを押してから使用してください。

CDの取り扱い

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

●
取り扱いは、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。



紙テープなど



糊のベタつき

記録面はもちろん、ラベルが印刷されている面にも、紙テープなどを貼らないでください。シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合は、必ずアルコールで拭き取ってからご使用ください。特に中古CDやレンタルCDなどはご注意ください。

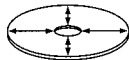
ディスクマガジン/CDの保存

直射日光が当たる場所など、温度が高い場所には置かないでください。特に、夏の直射日光下のシート、ダッシュボードの上などは非常に高温となりますので、絶対に放置しないでください。

●
長期間演奏しないときは、CDオートチェンジャーやディスクマガジンから取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

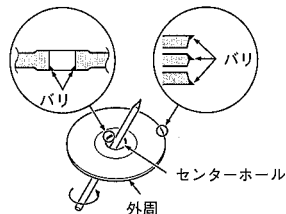
CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



新しいディスクを使用するときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかつたり音とびの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シートなど）は故障の原因となるので使用しないでください。



ディスクセットのしかた

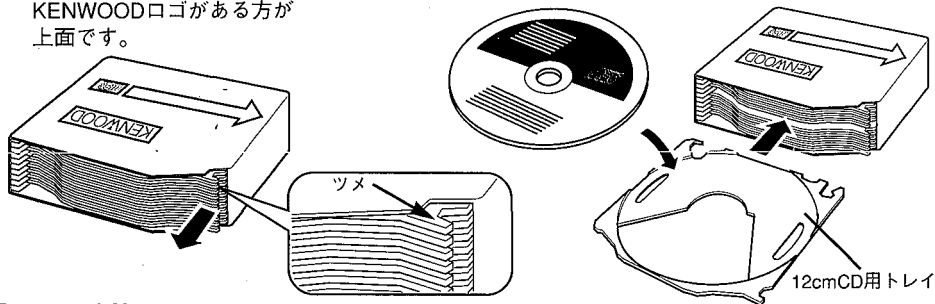
10

CDをディスクマガジンに入れ、CDオートチェンジャーにセットします。

■ディスクマガジンにディスクをセットする

- 1 KENWOODロゴがある方を上にしてディスクマガジンを持ち、トレイのツメを持って引き出します。
- 2 ディスクのラベル面を上に向けてトレイに乗せ、トレイをディスクマガジンに挿入し、ロックするまで差し込みます。

KENWOODロゴがある方が
上面です。

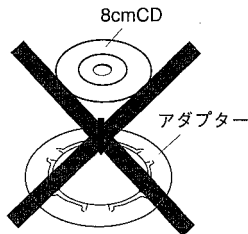


●ディスクNo.について

ディスクNo.は、下からディスクNo.1,2,3・・・10です。

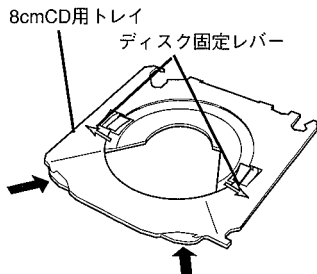


- トレイをディスクマガジンに段違いに挿入しないでください。
- ディスクが無い状態でもトレイは全て入れてください。
- 付属のディスクマガジンまたは、別売の"KCA-M112C"では、8cmCD(シングルCD)は使用できません。8cmCD(シングルCD)用アダプターを使用すると、ディスクが取り出せなくなります。
- 8cmCD(シングルCD)を使用するときは、別売の8cmCD(シングルCD)用ディスクマガジン"KCA-M108C"を使用してください。(下記参照)



●8cmCD(シングルCD)用トレイについて

- 8cmCD(シングルCD)用トレイにディスクをセットするには、→の白い部分を押しディスク固定レバーを広げながら、8cmCDを乗せます。
- 8cmCDをトレイから取り出すときも同様に、→の白い部分を押しディスク固定レバーを広げながら、8cmCDを取り出します。



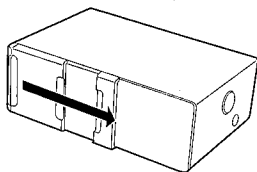
8cmCD(シングルCD)用トレイと12cmCD用トレイを差し替えて使用することができます。



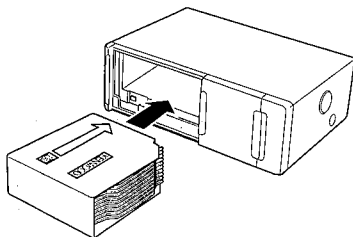
ディスク固定レバーにディスクが確実に固定されるようにしてください。ディスクが固定されていないと、ディスクが脱落して故障やディスクに傷を付ける原因になります。

■ ディスクマガジンをCDオートチェンジャーにセットする

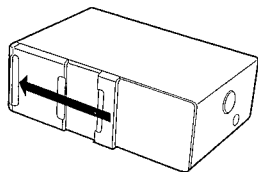
- 1 CDオートチェンジャーのドアを開けます。



- 2 ディスクマガジンをロックするまで、CDオートチェンジャーに入れます。



- 3 CDオートチェンジャーのドアを閉めます。



- 注意** ホコリなどが入ると、レーザーピックアップが汚れますので、必ずドアを開けて使用してください。

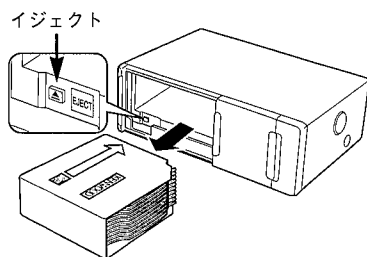
■ ディスクマガジンをCDオートチェンジャーから取り出す

- 1 CDオートチェンジャーのドアを開けます。

- 2 ^{イジェクト}EJECTスイッチを押します。

- 3 ディスクマガジンを取り出します。

- 4 本機のドアを閉めます。

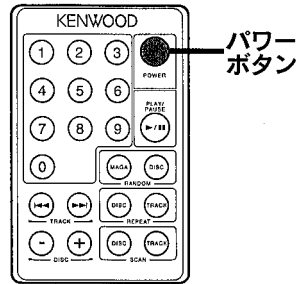
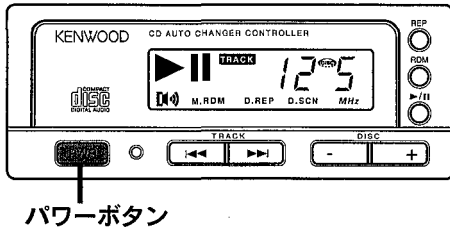


- 注意** ディスクマガジンのイジェクト
ディスクマガジンを取り出すときは、ドアを完全に開いてから行ってください。ドアが完全に開いていないとマガジンがドアに当たり故障の原因となります。もし、イジェクト時にマガジンがドアに当たったときは、無理にドアを開けずにマガジンをロックするまで押し、ドアを完全に開けてから再度EJECTスイッチを押してください。

CDプレイ

CD演奏の開始と停止

操作のしかた



操作

FMチューナーの周波数を合わせる

ディスプレイユニットで設定してある88.3MHzの周波数にFMチューナーを合わせます。

メモ

周波数は変更できます (P.26)

RFモジュレーターユニットが出力する周波数は、87.7 MHz～89.9 MHzの200kステップの範囲から選択できます。初期状態では88.3 MHzになっています。周波数変更の詳しい設定方法は、26ページを参照してください。

操作

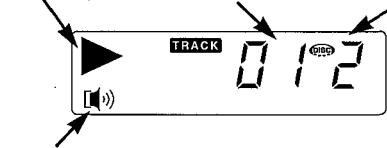
CD演奏を始める

パワーボタンを押す

電源がONになります。

ディスプレイユニットの表示が点灯し、CD演奏が始まります。

プレイ表示 トラックNo.表示 ディスクNo.表示



リモコンからの信号を受信すると点灯します。

注意

ラジオやカセットテープを聴くときは、一旦音量を下げたからCD演奏を止めてください。

メモ

CDオートチェンジ

最後のトラックを演奏した後は、次のCDを演奏します。

10枚目のCDを演奏した後は、1枚目のCDに戻って演奏します。

10枚目のディスク表示

10枚目のディスクは"0"と表示されます。

操作**CD演奏の音量調整をする**

FMチューナーの音量を調整します。
CD演奏の音量が調整できます。

注意

CD演奏とラジオの音量差が大きい場合があります。このようなときは、出力レベルを調整してください。(P.27参照)

操作**CD演奏を止める****パワーボタンを押す**

電源がOFFになります。
表示パネルの照明が消灯し、ラジオに切り替わります。

注意

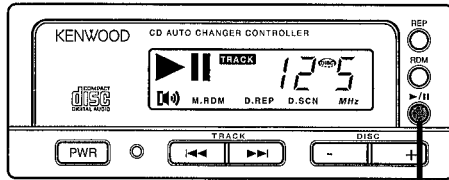
本機の電源をOFFにすると、ラジオの音声之急に大きくなる場合があります。電源をOFFにするときは一旦音量を下げてください。

ポーズ

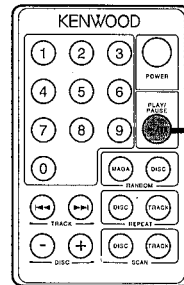
14

一時的に演奏を止める

操作のしかた



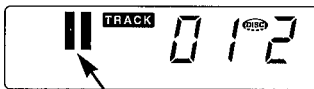
PLAY/PAUSE ボタン



PLAY/
PAUSE
ボタン

操作

PLAY/PAUSEボタンを押す
ディスプレイがポーズ（一時停止）
状態になります。



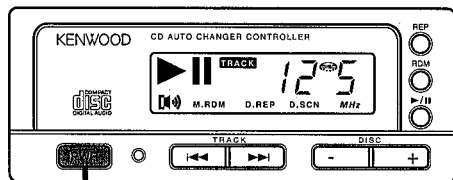
ポーズ
表示

解除

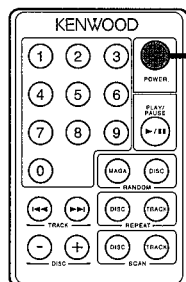
PLAY/PAUSEボタンを押す
演奏を止めたところから演奏が再開
します。

ラジオ切り替え

ラジオ放送を聴く



パワーボタン



パワー
ボタン

操作のしかた

操作

ラジオ放送を聴く

パワーボタンを押す

ディスプレイユニットの表示が消え、ラジオに切り替わります。

聴きたい放送局の周波数に合わせます。

解除

パワーボタンを押し、ディスプレイユニットで設定した周波数に合わせる

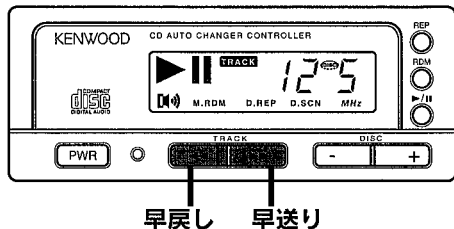
止めたトラックからCD演奏が始まります。

早送りと早戻し

16

聴きたい演奏箇所を選ぶ

操作のしかた



操作

●早戻しする

◀◀ボタンを押し続ける

押している間、早戻しをします。

早戻し音が小さく聞こえます。

聴きたい所で指を離します。

●早送りする

▶▶ボタンを押し続ける

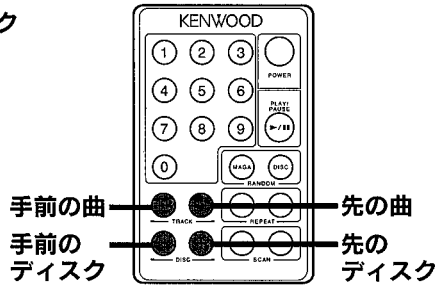
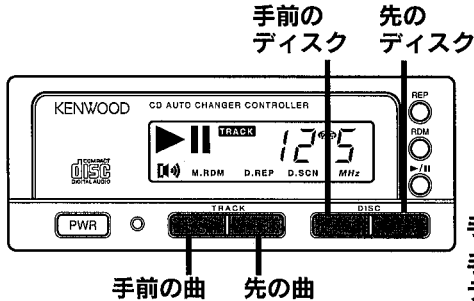
押している間、早送りをします。

早送り音が小さく聞こえます。

聴きたい所で指を離します。

トラック/ディスクサーチ

聴きたい曲/ディスクを選ぶ



操作のしかた

操作

● 手前の曲を選ぶ

◀ボタンを押す

ボタンを1回押すと聴いている曲の最初に戻り、押すたびに表示されるトラックNo.が小さくなります。表示されているトラックNo.の曲を演奏します。



トラックNo.表示

メモ

1トラック目で操作すると、最後のトラックへはサーチしません。(トラックリピートがONのときは、最後のトラックにサーチします。)

● 先の曲を選ぶ

▶ボタンを押す

押すたびに、表示されるトラックNo.が大きくなります。表示されているトラックNo.の曲を演奏します。

最後のトラックで操作すると、トラックサーチを行いません。(トラックリピートがONのときは、最初のトラックにサーチします。)

操作

● 手前のディスクを選ぶ

-ボタンを押す

押すたびに、表示されるディスクNo.が小さくなります。表示されているディスクNo.の曲を演奏します。



ディスクNo.表示

● 先のディスクを選ぶ

+ボタンを押す

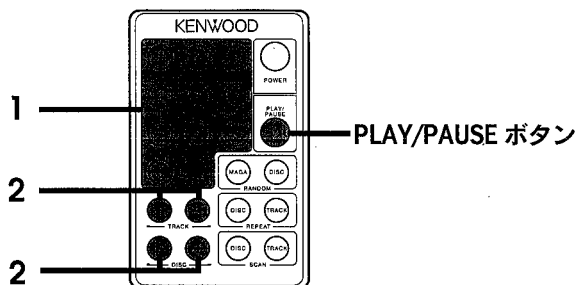
押すたびに、表示されるディスクNo.が大きくなります。表示されているディスクNo.の曲を演奏します。

ダイレクトトラック/ディスクサーチ

18

聴きたいトラック/ディスクナンバーを入力して演奏する

操作のしかた



1 聴きたいトラック/ディスクを指定する

聴きたいトラックまたはディスクナンバーを入力する

入力したトラックまたはディスクナンバーが10秒間点滅表示されます。



ディスクNo.10のディスクをダイレクトディスクサーチするときには、「0」を入力します。

2 ●ダイレクトトラックサーチをする

点滅表示している間に、◀◀または▶▶ボタンを押す

1で入力したトラックの演奏が始まります。

メモ 聴いているディスクに無いトラックNo.が表示されていると、最後のトラックへダイレクトトラックサーチをします。

●ダイレクトディスクサーチをする

点滅表示している間に-または+ボタンを押す

1で入力したディスクの演奏が始まります。

メモ 数字が2桁表示されているときは、右側の数字のディスクNo.へダイレクトディスクサーチします。

例

表示13⇒ディスクNo.3へ

表示20⇒ディスクNo.10へ

解除

途中で解除したいときは、PLAY/PAUSEボタンを押す

ダイレクトトラック/ディスクサーチが解除され、通常のディスプレイ表示になります。

また、10秒間操作をしないと、ダイレクトトラック/ディスクサーチは自動的に解除されます。

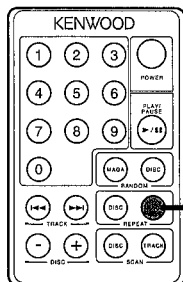
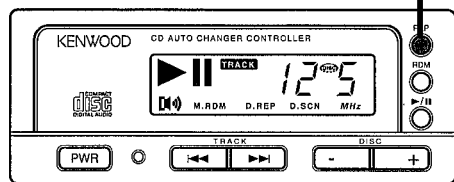
トラックリピートプレイ

20

同じ曲を繰り返し聴く

操作のしかた

トラックリピートプレイ



トラック
リピート
プレイ

操作

トラックリピートプレイを開始する

繰り返し聴きたい曲を選んで、**TRACK REPEAT**ボタンを押す
REPインジケーターが点灯し、トラックリピートプレイがONになります。

現在聴いている曲を繰り返して演奏します。



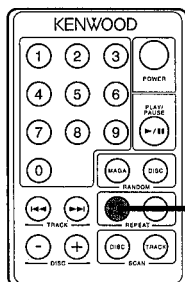
解除

TRACK REPEATボタンを押す
REPインジケーターが消え、通常のディスクプレイに戻ります。

メモ CD演奏を止めると、トラックリピートプレイは解除されます。

ディスクリピートプレイ

同じCDを繰り返し聴く



ディスクリピートプレイ

操作

ディスクリピートプレイを開始する

繰り返し聴きたいCDを選んで、**DISC REPEAT**ボタンを押す

D.REP インジケーターが点灯し、ディスクリピートプレイがONになります。

現在聴いているディスクを繰り返し演奏します。

解除

DISC REPEATボタンを押す

D.REP インジケーターが消え、ディスクリピートプレイが解除されます。

メモ CD演奏を止めると、ディスクリピートプレイは解除されます。

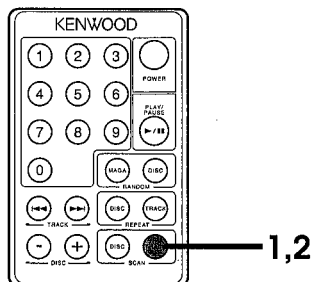


トラックスキャンプレイ

22

聴きたい曲を探す

操作のしかた



1 聴きたい曲を探す

TRACK SCANボタンを押す

SCN インジケーターが点灯し、トラックスキャンプレイがONになります。

各トラックの先頭部分を、10秒間ずつ演奏します。



2 聴きたい曲が始まったら

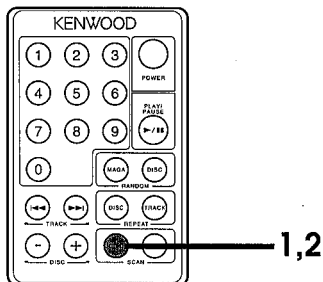
TRACK SCANボタンを押す

SCN インジケーターが消え、通常のディスクプレイに戻ります。

- メモ**
- CD演奏を止めると、トラックスキャンプレイは解除されます。
 - 聴いているCDのすべてのトラックをスキャンプレイすると、トラックスキャンプレイは解除されず。

ディスクスキャンプレイ

聴きたいディスクを探す



操作のしかた

操作

1 聴きたいCDを探す

DISC SCANボタンを押す

D.SCNインジケーターが点灯し、ディスクスキャンプレイがONになります。

各ディスクの先頭部分を、次々と10秒間ずつ演奏します。



2 聴きたいCDが見つかったら

DISC SCANボタンを押す

D.SCNインジケーターが消え、通常のディスプレイに戻ります。

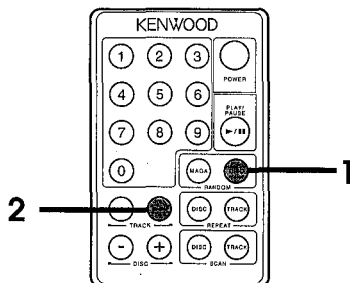
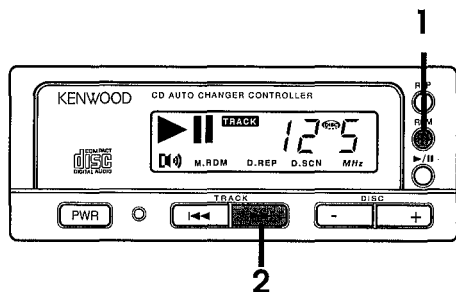
メモ CDの演奏を止めると、ディスクスキャンプレイは解除されます。

ディスクランダムプレイ

24

自動的に曲を選んで、演奏する

操作のしかた

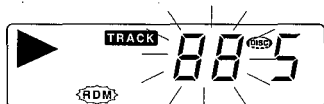


操作

1 ディスクランダムプレイを始める

DISC RANDOMボタンを押す

RDMインジケーターが点灯し、ランダムプレイが始まります。演奏する曲を選んでいるときは、トラックNo.の表示が次々に変わります。



選ばれた曲の演奏が始まります。

メモ 演奏しているCDのすべてのトラックをランダムプレイすると、次のCDのランダムプレイをします。

2 曲を変えるには

▶▶ボタンを押す

次の曲の選択が始まります。

解除

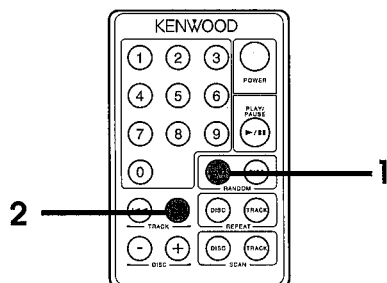
DISC RANDOMボタンを押す

RDMインジケーターが消え、通常のディスクプレイに戻ります。

メモ CD演奏を止めると、ランダムプレイは解除されます。

マガジンランダムプレイ

チェンジャーに入っているディスクから自動的に曲を選んで演奏する



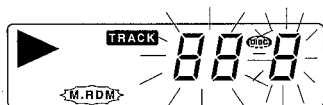
操作のしかた

操作

1 マガジンランダムプレイを始める

MAGA. RANDOMボタンを押す

M.RDMインジケーターが点灯し、ディスクとトラックの選択が始まります。



ディスク/トラック選択中はディスク/トラックNo.が次々に変わります。

ディスク/トラックが選ばれると、演奏が始まります。

2 曲を変える

▶▶ボタンを押す

次の曲の選択が始まります。

解除

MAGA. RANDOMボタンを押す

M.RDMインジケーターが消え、通常のディスクプレイに戻ります。

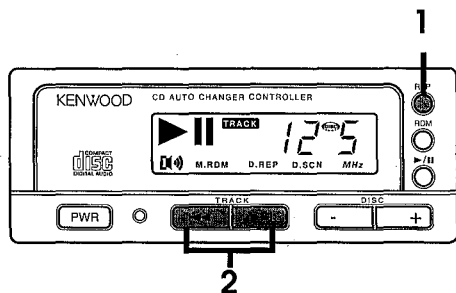
- メモ • CD演奏を止めると、マガジンランダムプレイは解除されます。
- ディスクマガジンに入っているディスクの枚数により、選択してランダムプレイするまでの時間が変わります。

周波数設定

26

RFモジュレーターユニットの周波数を設定する

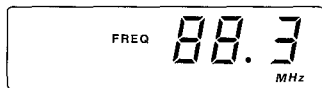
操作のしかた



操作

1 周波数変更モードにする

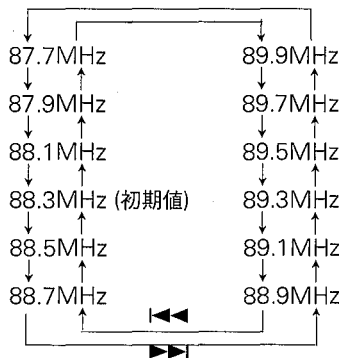
REPボタンを3秒以上押す
FREQインジケーターが点灯し、現在設定している周波数が表示されます。



- **メモ** 初期設定は88.3MHzになっています。
- 周波数設定中は、電源のON/OFF、リセット、出力レベル調整以外の操作はできません。
- この機能は、ランダムプレイ、リピートプレイ、スキャンプレイ機能がON中は使用できません。解除してからこの操作を行ってください。また、ディスクのローディング中（プレイ表示の点滅中）も、この機能を使用することはできません。

2 周波数を変更する

◀◀または▶▶ボタンを押す
以下のように周波数を変更されます。



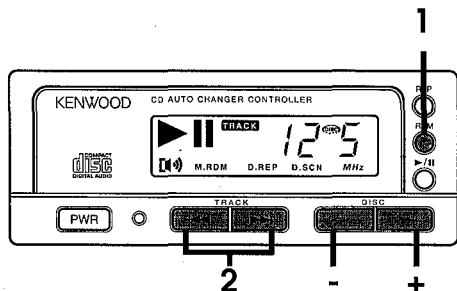
解除

REPボタンを3秒以上押す
FREQインジケーターが消え、変更した周波数に設定されます。
また、15秒間操作を行わないと自動的に周波数変更モードは終了します。

出力レベル調整 (FM変調度調整)

27

RFモジュレーターユニットの出力を設定する



操作のしかた

操作

1 出力レベル調整モードにする

RDMボタンを3秒以上押す

LEVELインジケーターが点灯し、現在設定している出力レベルが表示されます。



歪み防止機能設定No.

- メモ 出力レベル調整中は、電源のON/OFF、リセット、周波数設定以外の操作はできません。
- この機能は、ランダムプレイ、リピートプレイ、スキャンプレイ機能がON中は使用できません。解除してからこの操作を行ってください。また、ディスクのローディング中（プレイ表示の点滅中）も、この機能を使用することはできません。

2 出力レベルを変更する

◀◀または▶▶ボタンを押す
押すたびに出力レベルが1から4の範

囲で切り替わります。数字が大きくなると出力レベルが大きくなります。初期設定では2になっています。

メモ 歪み防止機能

本機には音の歪みを軽減させる、歪み防止機能が搭載されています。音の歪みが気になる場合は、出力レベル調整モード中に、+ボタンを押して"2"(ON)にしてください。ただし、歪み防止機能を"2"(ON)にすると、音の広がり感が損なわれます。-ボタンを押すと"1"(OFF)に設定できます。初期設定では"1"(OFF)になっています。

注意

録音レベルの高いディスクを使用しているときに、歪み防止機能を"2"(ON)にしても音が歪む場合があります。このようなときは、出力レベルを下げてください。

解除

RDMボタンを3秒以上押す

LEVELインジケーターが消え、変更した出力レベルに設定されます。また、15秒間操作を行わないと自動的に出力レベル調整モードは終了します。

取り付け部品

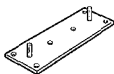
28

取り付けかた

①ブラケット×2



②プレート×2



③タッピングネジ (φ5×20 mm) ×4



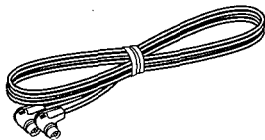
④セムスネジ (M4×8 mm) ×4



⑤ナット (M5) ×4



⑥チェンジャーコード (5 m) ×1



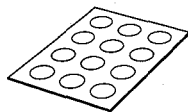
⑦テープ×2



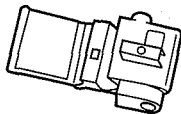
⑧ディスクマガジン×1



⑨防塵シール×1



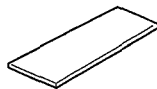
⑩電源中継コネクタ×2



⑪タッピングネジ (φ4×12 mm) ×2



⑫ディスプレイユニット用テープ×1

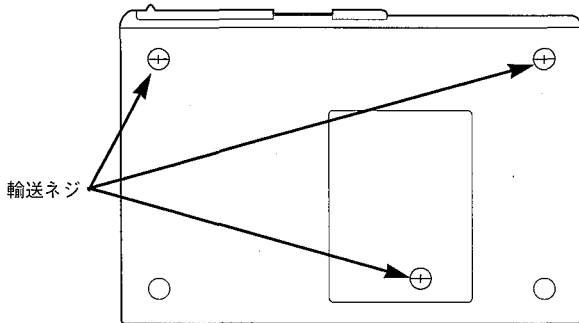


取り付けには付属のネジを使用して
ください。他のネジを使用すると故
障の原因となります。

取り付けを始める前に

■ 輸送ネジの取り外し

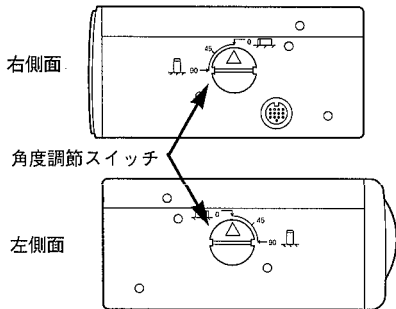
内部メカを守るために取り付けてある3本の輸送ネジを、本体の取り付けを始める前にすべて取り外してください。



注意 取り外した輸送ネジは、大切に保管して、本体を輸送する場合に取り付けてください。

■ 角度調節スイッチの切り替えかた

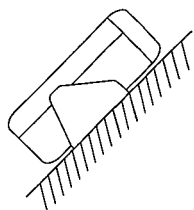
CDオートチェンジャーを取り付ける角度により、両側面にある角度調節スイッチの設定が必要です。角度調節スイッチは2か所あります(2つのスイッチとも同じ設定をしてください)。正しくスイッチの設定がされていないと、音飛び、故障の原因となります。



角度調整スイッチは、硬貨などで切り替えてください。

- 注意** 角度調整スイッチは3段階に切り替わります。0°から90°に切り替えるときは、45°の位置で一度止め、さらに切り替えてください。ロックされた状態で無理に切り替えると、スイッチが壊れるなどの原因になります。
- ブラケット①だけでは取り付け面に対して40°~50°には取り付けられません。下右図のようにしっかりと固定された台などを利用して取り付けてください。

	0°~5°	40°~50°	85°~90°
取付角度			
角度調節スイッチの設定			



CDオートチェンジャーの取り付け

30

取
り
付
け
か
た

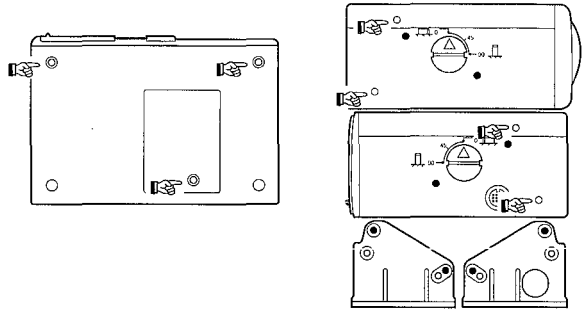
■ よこに置いて取り付ける場合

●ネジの取り付け位置と防塵シールの貼り付け位置

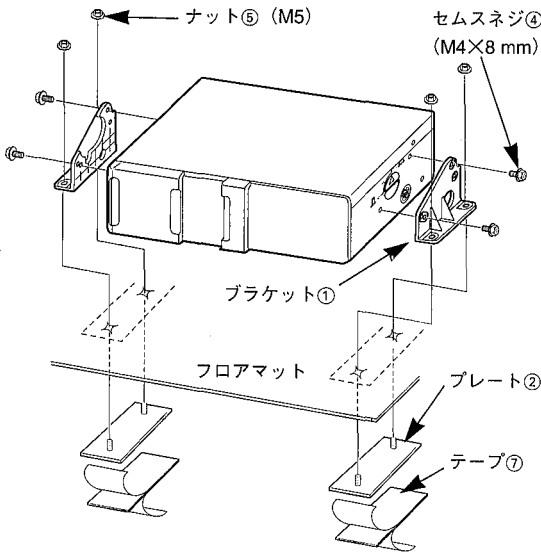
ホコリが内部に入るのを防ぐため、取り付けに使用しない穴には、防塵シール⑨を貼り付けます。

ネジの取り付け位置は(●)印の穴を使用します。

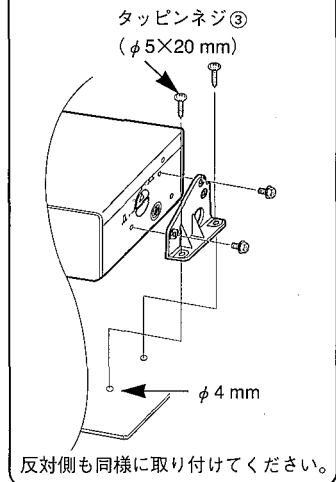
防塵シール⑨の貼り付け位置は(⊕)印の穴です。



●プレート②を使った簡易的な取り付けかた



●タッピンネジ③を使った取り付けかた



反対側も同様に取り付けてください。



- セムスネジ④は取り付け時は仮止め程度とし、ブラケット①を取付面に固定後、最後に締め付けてください。
- 取り付けの面は油などの汚れを拭き取ってください。また、凹凸面への取り付けは避けてください。
- この取り付けかたは、簡易的な取り付け方法です。万一音飛びが起きるときには、タッピンネジを使った取付方法で車に固定してください。
- トランクルーム内に穴をあける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

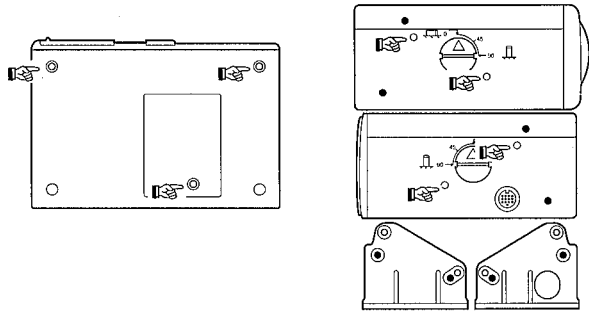
■ たてに置いて取り付ける場合

●ネジの取り付け位置と防塵シールの貼り付け位置

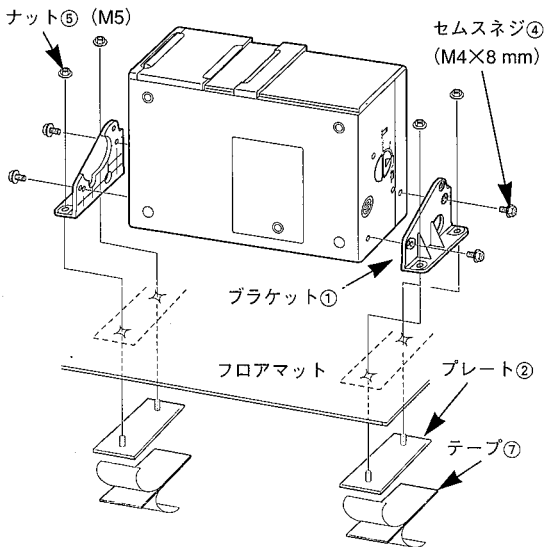
ホコリが内部に入るのを防ぐため、取り付けに使用しない穴には、防塵シール⑨を貼り付けます。

ネジの取り付け位置は (●) 印の穴を使用します。

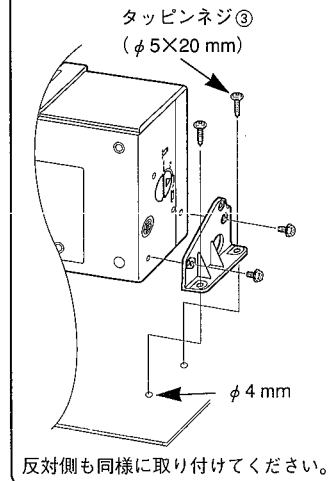
防塵シール⑨の貼り付け位置は (⊗) 印の穴です。



●プレート②を使った簡易的な取り付けかた



●タッピンネジ③を使った取り付けかた



- セムスネジ④は取り付け時は仮止め程度とし、ブラケット①を取付面に固定後、最後に締め付けてください。
- 取り付けの面は油などの汚れを拭き取ってください。また、凹凸面への取り付けは避けてください。
- この取り付けかたは、簡易的な取り付け方法です。万一音飛びが起きるときには、タッピンネジを使った取付方法で車に固定してください。
- トランクルーム内に穴をあける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

CDオートチェンジャーの取り付け

取り付けかた

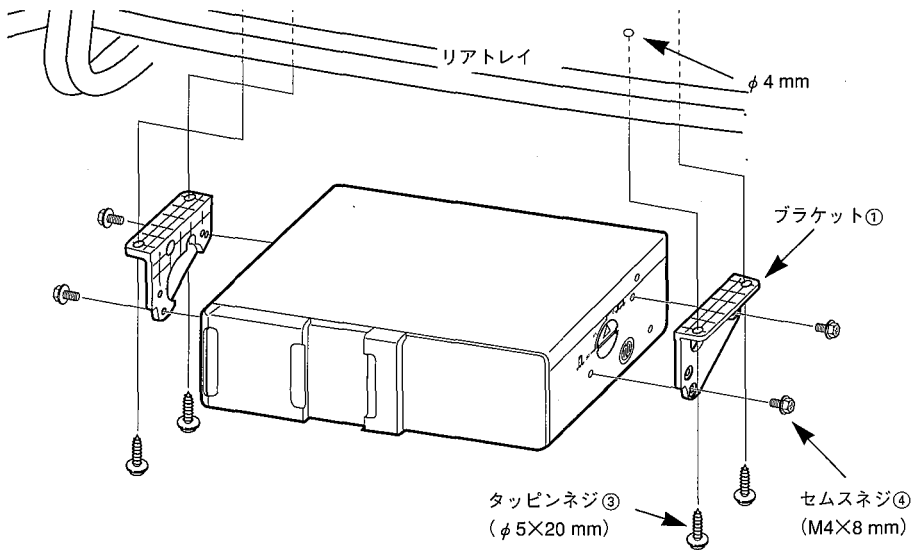
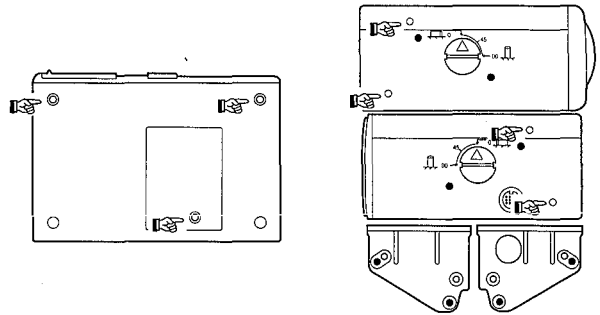
■ トランクに吊り下げる場合

● ネジの取り付け位置と防塵シールの貼り付け位置

ホコリが内部に入るのを防ぐため、取り付けに使用しない穴には、防塵シール⑨を貼り付けます。

ネジの取り付け位置は(●)印の穴を使用します。

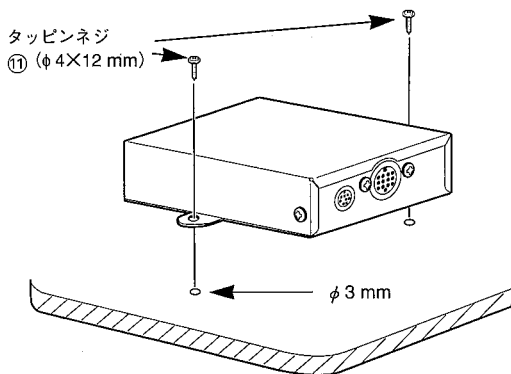
防塵シール⑨の貼り付け位置は(■)印の穴です。



- 注意** ●セムスネジ④は取り付け時は仮止め程度とし、ブラケット①を取付面に固定後、最後に締め付けてください。
- トランクルーム内に穴をあける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

メモ リアトレイに取り付ける場合は、スピーカーの振動も音とびの原因になりますので、本機はスピーカーから離れた所に取り付けてください。またリアトレイが振動に弱い材料の場合も音飛びの原因となります。この場合はリアトレイの隅など、振動の少ない場所に取り付けてください。

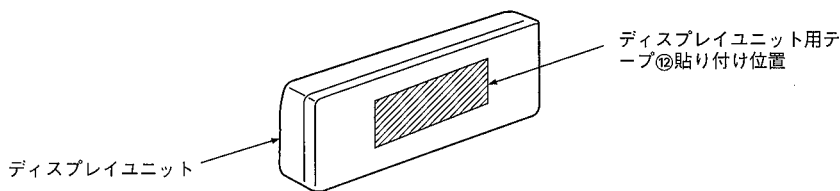
■ RFモジュレーターユニットの取り付け



シート下などに固定する場合、配線ケーブルがシートのレールなどにはさみ込まれると、断線が起こり、故障の原因となります。RFモジュレーターユニットを取り付けたあとで、シートを動かしてケーブルがはさまれないか確認してください。

タッピンネジ⑪を使って固定します。

■ ディスプレイユニットの取り付け



1

ディスプレイユニット用テープ⑫を貼り付ける場所の汚れをよく拭き取ります。

また、取り付ける場所の温度が低いとテープの粘着力が弱まります。温度が低いときはヒーターをつけるなどして、車内の温度を上げてから取り付けるようにしてください。

2

ディスプレイに、ディスプレイ用テープ⑫を貼り付けます。

3

ディスプレイ用テープ⑫のはくり紙をはがし、ディスプレイを車両側に貼り付けます。



- ダッシュボードの上など直射日光があたる場所や高温になる場所へ取り付けたり、放置しないでください。熱による変形、破壊の原因となります。
- 取り付け場所により、リモートコントロールユニットの信号を受信できない場合がありますので、受信が可能なことを確認してから取り付けてください。
- 運転の妨げにならないように取り付けてください。

接続のしかた

■ 接続順序

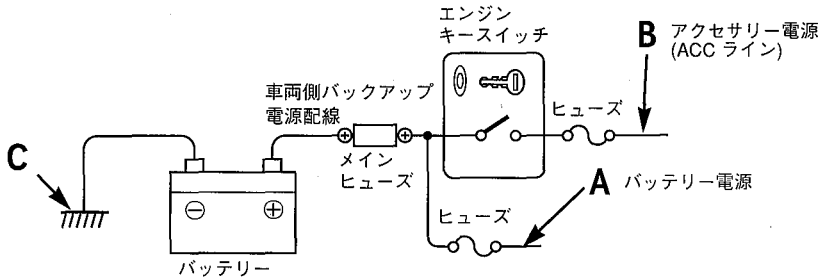
取り付けかた

初めに、エンジンキーが抜かれているのを確認し、ショート事故防止のためバッテリーの⊖端子を外してください。

- 1 各セットの入出力コードを確かめて接続します。
- 2 アースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
- 3 取り付け終了後に、ディスプレイユニットのリセットボタンを押します。

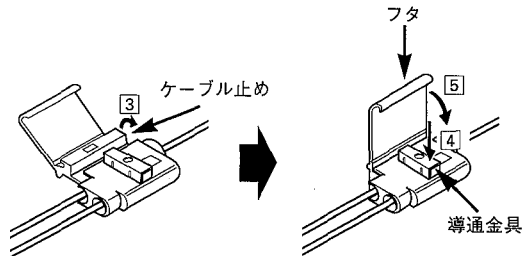
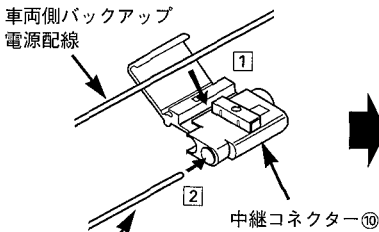


- ケーブル類は余裕をもたして配線してください。無理に引っ張ると断線したり、ショートすることがあります。
- アクセサリ電源コード(赤)とバッテリー電源コード(黄)は、必ず指定の場所に接続し、同じ場所にまとめて接続しないでください。
- ヒューズが切れた場合は、コードがショートしていないことを確認してください。確認後、ヒューズボックスに表示されている容量のヒューズと交換してください。
- 取付終了後に、車のブレーキランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。



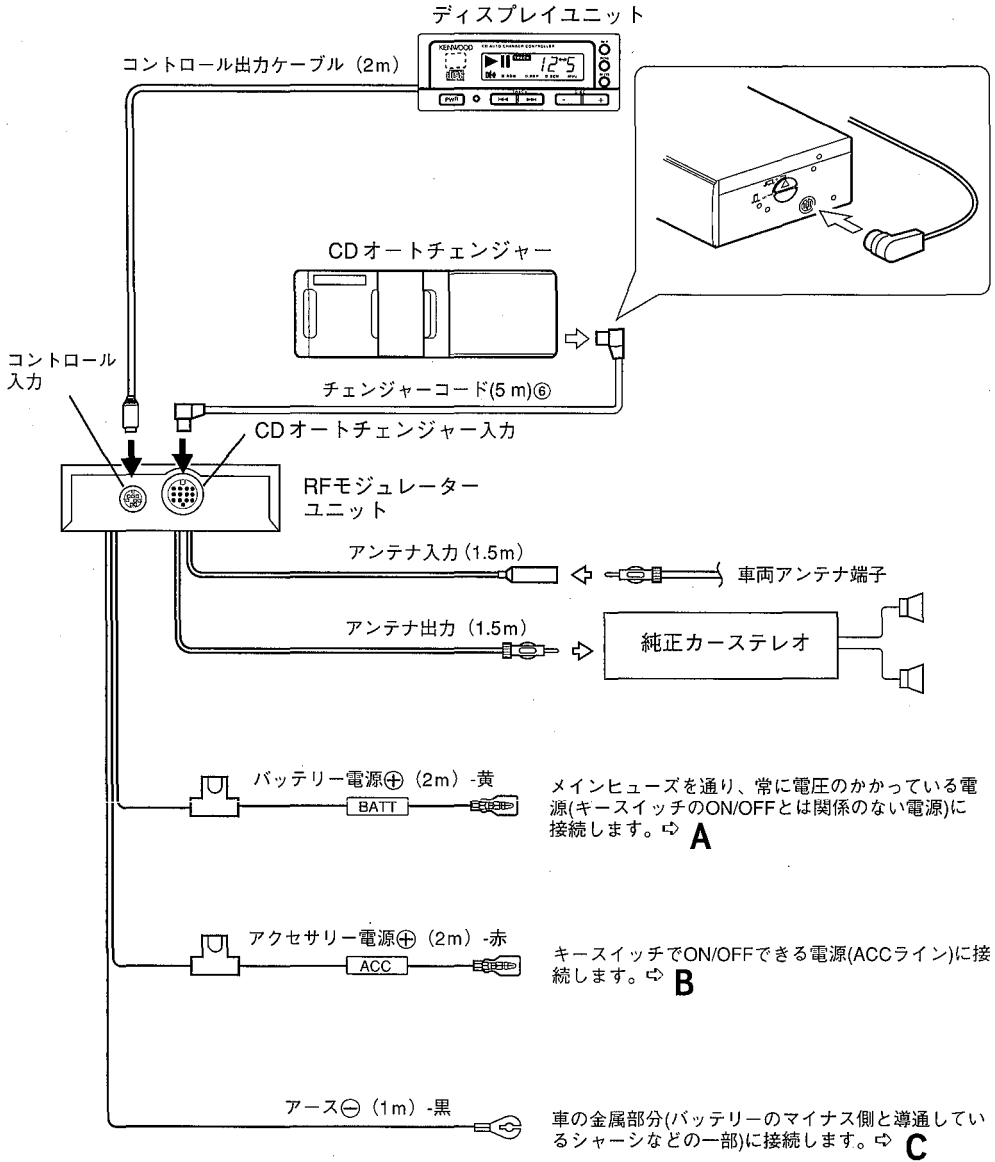
■ 電源中継コネクターの使い方

- 1 車両側バックアップ電源配線を差し込みます。
- 2 RFモジュレーターバッテリーケーブルのギボシ端子を切り落として差し込みます。
- 3 ケーブル止めをロックします。
- 4 導通金具をプライヤーなどで樹脂面と平らになるまで押し込みます。
- 5 フタをロックします。



RFモジュレーターバッテリー電源(黄) (ギボシ端子は切り落とします)

アクセサリ電源(赤)も同様に電源中継コネクターを使って車両側アクセサリ電源配線に接続できます。



メモ 別売品のCA-600シリーズ(電源配線用コネクター)を使うと電源配線が簡単に入ります。使用できるCA-600シリーズは、接続する車種により異なります。詳しくはカタログをご覧ください。

故障かな？と思ったら

36

故障かな？と思ったら

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	RFモジュレーターユニットの入出力が接続されていない。	RFモジュレーターユニットのケーブルを接続してください。⇨P35
	ディスプレイユニットのパワースイッチがONになっていない。	ディスプレイユニットのパワースイッチをONにしてください。⇨P12
	ヒューズが切れている。	配線がショートしていない事を確認して、指定のヒューズを交換してください。
操作スイッチを押しても動作しない	急激な電源電圧変化の影響により正常に動作できない。	ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。
CDの演奏が始まらない	一時停止状態（ポーズ）になっている。	▶IIスイッチを押してください。
	リモートコントロールユニットのパワースイッチがONになっていない。	リモートコントロールユニットのパワーボタンを押してください。⇨P12
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	CDが異常に汚れている。	CDのクリーニングをしてください。⇨P9
	CDが裏返しになっている。	マガジンを取り出してCDを正しく入れ直してください。⇨P10~11
	CDが2枚同じ場所に入っている。	マガジンを取り出してCDを正しく入れ直してください。⇨P10~11
	CDの入れた場所と指定NO.が違う。	マガジンを取り出して指定CDのNO.を確認してください。
振動により音が飛んでしまう	本機が不安定な場所に固定してある。	しっかりとした場所へ取り付けてください。
	本機に荷物があたっている。	荷物があたらないようにしてください。
	角度調節スイッチが間違えて設定されている。	角度調節スイッチを正しく設定してください。⇨P29
	取り付けかたが悪い。	しっかりと取り付けてください。⇨P30~32
振動がないのに音が飛んでしまう	CDに傷や汚れなどが付いている。	停車しても同じ部分で音が飛ぶ場合は、ディスクの問題です。"CDのお手入れ"をしてみてください。⇨P9

こんなとき	どうして	こうします
音質が悪い(再生中雑音が出る)	CD自身の音質。	他のCDを再生して問題がなければ、コンパクトディスクの問題です。
	CDに傷や汚れなどがついている。	"CDのお手入れ"をしてみてください。 ⇨P9
	録音レベルが大きなCDを聴いている。	"出力レベル調整 (FM変調度調整)"を参照して調整してください。⇨P27
再生中雑音(ヒューン音)が出る	カーラジオのマイナスが接続されていない。	カーラジオのマイナス端子を接続してください。
CDの表示はプレイになっているが音がでない	カーラジオの電源がONになっていない。	カーラジオの電源がONにしてください。
	カーラジオの音量が最小になっている。	カーラジオの音量を適度に上げてください。
	カーラジオのFM周波数があってない。	カーラジオのFM周波数を合わせてください。
	マイコンが正常に動作しない。	ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。⇨P8
	カーラジオのアンテナコードなどの接続が不完全になっている。	取扱説明書に従って配線をチェックしてください。⇨P35
	カーラジオのフェダー、バランスが片チャンネルにかたよった設定になっている。	カーラジオのフェダー、バランスを調整直してください。
	選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイモードになっている。
ディスプレイに何も表示されない	ディスプレイユニットのコントロール出力ケーブルが完全に接続されていない。	コントロール出力ケーブルを確実に接続してください。⇨P35

エラーメッセージ表示

38

ディスプレイユニットは以下のエラーメッセージを表示することがあります。

エラーメッセージ

どうして

こうします

01 E

ディスクマガジンが入っていない。ディスクマガジンを完全に入れてください。
ディスクマガジンが完全に入っていない。

02 E

ディスクマガジンにディスク1枚も入っていない。ディスクマガジンにディスクを入れてください。

ディスクが全て裏返しになっている。ディスクを正しく入れてください。

04 E

ディスクが入っていない。ディスクやトレイを正しく入れてください。
トレイが入っていない。

77 E
または
99 E

何らかの原因で正常に動作していない。ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。"77 E または 99 E"表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

0d E

温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなる場合に表示します。
CDオートチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてください。
また、接続時やリセットスイッチを押したときも数秒間表示されます。

保証書 この商品の保証書は別途添付しております。

保証期間 お買上げの日より**1年間**です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッド各営業所が**無料修理**します。

保証期間経過後の修理 お買上げの販売店またはケンウッド各営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により**有料修理**いたします。

本機の当社規定**補修用性能部品の最低保有期間**は製造打切後**6年間**です。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

修理のためお買上げの販売店またはケンウッド各営業所に本機をお持ちになるときは、ディスプレイユニット、リモートコントローラー、RFモジュレーターユニットを一緒にお持ちください。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、各営業所にご遠慮なくご相談ください。

【ディスク部】

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780\text{nm}$)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1Bit
回転数	500~200 rpm (線速度一定)
ワウ&フラッター	測定限界以下
モジュレーション周波数	87.7~ 89.9 MHz (200 KHz STEP)

【電源部その他】

電源電圧 (-アース)	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	1.4 A
使用温度範囲	-10~50 °C

【寸法・質量 (重さ)】

外形寸法 (W×H×D)	
CDオートチェンジャー	251×80×173 mm
リモートコントローラー	54×85×5 mm
ディスプレイユニット	105×40×18 mm
RFモジュレーターユニット	100×30×150 mm
質量	
CDオートチェンジャー	2.0 kg
リモートコントローラー	0.028 kg
ディスプレイユニット	0.125 kg
RFモジュレーターユニット	0.450 kg

※これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪) 電話(06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
(土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。